

富士市・栗石町 少年交流事業

栗石町の子どもたちを迎えて

事故の記憶を風化させないために

今から36年前（昭和46年7月30日の午後2時過ぎ）、緑豊かな山々に囲まれた岩手県栗石町の上空で、民間航空機と自衛隊機の衝突事故が起きました。その犠牲者の中に、125人の富士市民が含まれていました。

その後、遺族と栗石町の皆さんにより、平成15年の33回忌まで毎年慰霊祭が行われてきました。新たに平成16年度からは、少年交流事業が始まりました。

ことしは、7月28～31日に栗石町の子どもたちが富士市で夏の思い出をつくりました。



追悼

事故が起きた7月30日、栗石町の方角を向き、みんなで黙とうをしました



富士のお茶

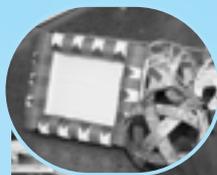
茶摘み、茶手もみ、おいしいお茶の入れ方など、富士のお茶を満喫！



ホームステイ



ホームステイ先で楽しい時間を過ごしたよ



紙バンド



紙バンドを使って、フォトスタンドをつくったよ

アルティメット



富士常葉大学のお兄さんたちに教えてもらったよ

来年は、富士市の子どもたちが、緑あふれる栗石町ですてきな夏を過ごします！